

特定非営利活動法人

認知症予防ネット通信

二〇一九年

私たちの目指すもの

理事長 平田 研一

昨年(二〇一八年)は、十一月に第三回目となる全国ゲームリーダー交流会を多くの参加者のもとで開催することができました。また高林さんが京都新聞大賞を受賞され、ご本人だけでなく当法人にとっても大変名誉で喜ばしい出来事もありました。

しかし、本部機能を十分に発揮できたかと問われれば、課題も多く組織再構築へ向け道半ばの状況は続いています。

「仲間を増やし、みんなの認知症予防ゲームを楽しみながら活動が継続できればそれでよし」で暫しご容赦ください。

振り返れば全国の自治体では、「地域における医療及び介護の

総合的な確保の促進に関する法律」等に基づいて、介護予防・日常生活支援総合事業や、包括的支援事業・任意事業等で、認知症をもつ人を含む高齢者等への生活支援、普及・啓発等を進めています。

しかしながら認知症は、進行抑制、状態の維持を図るために継続的な医学的管理の下、中核症状、行動・心理症状(BPSD)に対応しながら、安全に自立的な生活を続けられるように、周囲の関わりや、きめ細やかな支援が期待されています。ところが、地域によつては、人口減少、共働き世帯、高齢者単独世帯、独居高齢者世帯の割合が増加傾向にあり、地域の見守り力、家族介護力の低下は顕在化しており、認知症をもつ人の意思が尊重され、住み慣れた地域のよい

環境で自分らしく暮らし続けることは容易ではありません。認知症をもつ人やその家族の視点を尊重し、その人らしい暮らしを支える仕組と具体的な方策は急務となっています。

「みんなの認知症予防ゲーム」がその方策となり、認知症をもつ人や家族の思いである自分らしい暮らしを続けることへの大きな力となるために、「当法人は、どうあるべきか？」を皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

世の中の変化に対応していかなければ、強い組織であっても、いずれ消えていきます。

現在の超高齢社会は三十年以上前から分かっていたことでありながら、この変化への対応は十分とは言えません。これは政府や行政だけの責任ではなく、誰

も当事者意識が希薄だったように感じています。

当法人としてはこれまで以上に、「みんなの認知症予防ゲーム」というツールを有効に駆使して、共生社会の実現を目指します。

認知症の一次予防は言うに及ばず、発症者も重度進行の人も改善を目指して、諸共に一つの教室で同時にゲームで楽しんで頂くことが、共生社会への転換につながります。これが広い意味での認知症予防という社会的課題解決のモデルケースとなり、地域に貢献するように努めて参ります。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして良き年でありますよう心からお祈り申し上げます。



46号

2019年1月21日

編集・発行
NPO法人
認知症予防ネット

〒611-0031
京都府宇治市広野町
一里山15-10

電話
0774-45-2835
FAX
0774-45-2793
メール
npo@n-yobo.net
HP <http://www.n-yobo.net/>
FB <https://www.facebook.com/yobo.net/>

第3回全国リーダー研修・交流会

2018年11月25日(日)

西本願寺間法会館(京都市下京区)



第三回全国リーダー研修・交流会は京都、滋賀、奈良、大阪、和歌山、鳥取、山口、大分、熊本、愛知、岐阜、神奈川、千葉、埼玉、茨城の各地から八十七名のリーダーが参加。

会場は各地のリーダーが交流できるようにグループ分けした席を用意。開会前から到着の方々には立ち話もあり、席について交流もあり、用意された資料を見る方など、早くも積極的な雰囲気。

開会挨拶に続き平田理事長の講座は「コミュニケーションスキル」についてのワークショップ。ノートを取り、資料

に目をやり、話し合いしてグループごとにまとめを発表。昼食後は高林名誉理事長のゲームの理論と実技指導。小憩をはさんで翌日開催される認定講師審査を踏まえ、中村副理事長の講義は「認定講師を目指すリーダーのための研修」。研修・交流会は再々開催を、各地での開催をというリーダー皆さんの声を残して有意義に終了。



開会挨拶(高林名誉理事長)

コミュニケーションスキルについて(平田理事長)



グループワーク



リーダーと認定講師の違いについて(中村副理事長)





ワークショップ
まとめの発表



リーダーのための実技研修

「序破急方式」実技篇

「1から10の指数えで2度褒める理由」

「序破急」とは、スピードアップの仕方です。最初の指数えでも緩と急を行います。褒め方も言葉を変えて効果を確実にします。『認知症に不足するものは楽しい思い』参照)



「グッパー」「でんでん虫」5段階加速法

最初は、だらけたような、のんびんだらりからスタート。境目が分からないように、少しずつ5段階に弾みをつけてスピードを上げる。自然な牽引力が良い。少しずつ、効果的にリズムカルに運び、強い弾みでググッと引きつけ、体をリズムに載せる。

リーダーの計画性が重要。アシスタントをも巻き込む加速法は、グッパーや、でんでん虫のゲームで特に顕著です。グーチョキパーは、明確な5段階ではないが同じジャンルと言えます。

「2拍子」2度目の早いほうの速度変換の仕方 5秒の努力

「でんでん虫」等「ゲームその1」のあと、2拍子のゲームは隣席との距離を無くし、イスを少し前に輪を小さく隣と近づけてから開始。最初はゆっくり。2度目は倍速に早めます。

「今度は早めで行きますよ～」と、「早め」と言いながらも、実際には最初と同じペースで、ゆっくり「自分、みーぎ、自分、ひだり」を2回繰り返す。一旦は全員に「なーんだ、同じ早さだ」と思わせておいて、次に発声を「1, 2, 1, 2,」とかけ声に変えます。同じテンポで1～2セットをかけ声に換えるのです。

「早め」と言っておきながら、ゆっくりで始めるので、一旦意外に思わせて「1, 2, 1, 2,」のかけ声を2セットです。状況によっては1セットの次から変化させます。変化とは、次のかけ声から迫力、パワー、力強いかけ声で、「油断するな」と警告的発声で身構えさせるのです。これが第二の刺激です。3回目からアクセル全開のような強い加速でスピードアップします。勇ましい弾みが部屋中に漲ります。この「けしかける」時間は5秒弱です。



これは「騙す」意味ではなく、緊張感、注意力、集中力の取り戻し、という親心的な刺激なのです。自分の力が戻るようにと言う祈りの心、全身全霊で生きる力を誘いだすのです。

息の力を込めて加速するのが、2度目の「2拍子」の加速の仕方であり、5段階加速法よりも、2拍子の加速のほうが上回って気を込めないと成功しません。

「1・2・」を3回繰り返すと成功します。全員の早さが揃うと歌い出します。

換言すると5段階加速は全体の協力を活用できるが、2拍子の場合にはリーダー1人の渾身の力で引っ張る、と言えます。アシスタントは勿論リーダーの「誘いかけ」に合わせて助けます。

お手玉回しの「ロボット流」 レベル混在教室での健常者に不満を感じさせない加速が目的です。この計画性が結果を生みます。言うまでもなく、滑り出しだけロボットのようなギクシャクした右手の動きをし、揃ってきたら少しずつ角をけずるように滑らかな動作に誘って歌に入ります。最後までロボット流を続ける人が稀におられますが厳禁です。

このような速度変換が脳の刺激になり、僅かな効果の積み重ねが結果を生みます。

加速でない刺激は、広告パズルでも行います。1回目に広告の紙を7枚等に指定して破り、それを隣の人と交換して平面に並べます。次は11枚などと枚数を増やして破り、「又、交換だろう」と思う人々に向かって、「今度は交換ではなく裏返します」と言います。それが「あ、今度は違うの？」という小さな穏やかな刺激になるのです。

京都新聞大賞

重ねた功績たたえ

京都新聞大賞
8人5団体に
晴れの受賞者

文化学術、教育社会、スポーツ、福祉の4分野で優れた功績を挙げた人と団体を表彰する「京都新聞大賞」の贈呈式が27日、京都市中京区の京都新聞文化ホールで開かれた。京都府と滋賀県の8人と5団体に各賞が贈られた。

人、福祉賞に1人と2団体を選んだ。式には受賞者や関係者ら約70人が出席した。京都新聞社の山内康敬社長が「京都と滋賀はいかに豊富な人材に恵まれているかをあらためて実感した。府民と県民に夢や希望を与えていただいていることに敬意を表する」とあいさつし、賞状と賞金を手渡した。

- 【文化学術賞】織物作家・北村武資、陶芸家・林康夫、サンライズ出版株式会社
- 【教育社会賞】龍谷大学付属平安高校硬式野球部監督・原田英彦、大津市立仰木の里東小学校校長・細川俊行、京都子どもの音楽教室、丹後機械工業協同組合
- 【スポーツ賞】関西大学・宮原知子、福知山市陸上競技協会・平岡英雄、ALSOK総合警備保障
- ・園田新
- 【福祉賞】特定非営利活動法人認知症予防ネット前理事長・高林実結樹、公益社団法人京都犯罪被害者支援センター、サマーの会

平成30年(2018年)11月27日(火曜日) 京都新聞 夕刊1面 夕刊7版 001ページ



京都新聞大賞 福祉賞
この賞は地域社会の福祉向上に対する多大な尽力と功績をたたえ京都新聞と京都新聞社社会福祉事業団が贈るものです

平成30年度京都新聞大賞 福祉賞
高林実結樹様

あなたは特定非営利活動法人認知症予防ネットを創設され 認知症予防の実践に取り組んでこられました 認知症予防教室の開催や予防ゲームを始め教本の執筆をはじめ 全国のリーダー研修会での発表や養成も精力的にこなし その予防運動は韓国など外国にも広がっています ここにその功績をたたえ 賞を贈り 表彰します

平成30年11月27日

京都新聞
公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団

福祉賞

京都ボランティア協会相談役 小谷 節子さん

推薦者の言葉

高林実結樹さんは、認知症予防のゲームを全国に広げる活動をされており、一度経験させてもらったが大変楽しかった。翻訳版のテキストを作って韓国にも活動を広げるなど、国内外で大きな功績を残されている。

ゲームで認知症予防

認知症予防ネット前理事長

高林 実結樹さん



平成30年(2018年)11月26日
(月曜日) 京都新聞 朝刊
京都新聞大賞B朝刊011ページ



童謡を歌い、指や手をリズムカルに動かす認知症予防ゲームの普及に努めてきた。認知症だった母親の介護体験が原点。当時は知識が十分になかったが、この脳活性化ゲームに出会い、予防の大切さに気付いた。「認知症への理解は大きく変えられる。社会にはいろいろな人...」

第五回認定講師資格審査会は、全国リーダー研修・

交流会に続き十一月二十六日実施。筆記審査、スピーチ審査、実技審査に五名が参加。筆記審査以外は審査順番はくじ引き。順番が早くても遅くても緊張の度合いは皆さん同じ様子。審査結果発表は十二月五日。合格は一名。一月現在で公認講師は十二名。リーダーの皆様、亥の年に因んで

猪突猛進で次回の審査会へ!





「言葉が理解できなくなっても

その時点での悪化予防を！」

NPO法人認知症予防ネット

名誉理事長 高林実結樹

京都府南部にある認知症専用のグループホームへの月一回の定期訪問、平成三十年四月から十二月での教室のあらましの報告です。

此処ではスタッフ共で約十人前後の輪になって行っています。その中の一人の女性入居者さんの変化です。いつもにこやかな方なのですが、ゲームのルール説明は理解ができなくて、皆と一緒に揃える気が全くありません。できないことが自分で分かれるので、泣きそうになられます。たまたま良い具合に私と隣り合いになりました。ながら族のように、皆と一緒に手を動かしながら歌を歌うという、二つの異なる脳の働きをしますが、的確なタイミングで合の手を入れ「ホイ」とか言われたので、リズム感だけはすばらしく確かなことが分かりました。

そこで私は、「合いの手を入れるのは難しいのに上手に入られますね。次は合いの手係をお願いしますね」と言いましたところ、リズムにとってもうまく乗って「ホイ、ホイ」と言うだけでなく、手拍子まで入られました。「上手ですねえ」とお顔を見て褒めましたところ、本人が満足げな笑顔になられただけでなく、他の迷惑そうな顔つきだった参加者さん皆々が、それぞれ我が子が褒められたかのような、とても良い雰囲気になられたのでした。自分たちは仲間同士、私は外来者という関係が皆さんにハッキリ認識されているのですね。それを如実に感じた年末の教室でした。九回目に到達した結果と言えるでしょうか。

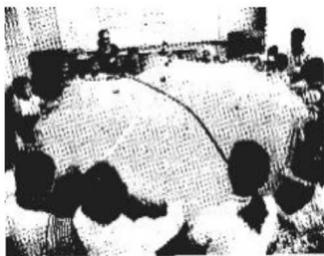
◇

社会福祉 大阪市社会福祉協議会 大阪の社会福祉第760号2018.9

旭区
ゲームやおしゃべりを
楽しみながら、もの忘れ予防
—もの忘れの気になる人の会—

旭区地域包括支援センターでは、もの忘れ予防のための、体操やゲームなどを楽しむ「もの忘れの気になる人の会」を主催している。この会は2ヶ所で開催され、旭区在宅サービスセンターでは毎月第4火曜日、大宮会館では毎月第3木曜日におこなわれている。

7月24日、旭区在宅サービスセンターにて、椅子が円形に並べられた会場に参加者15人が集まると、今日の日付の確認からスタート。その後は、「夢の旅」について、旅行先やお土産は何にするのかと想像を膨らませ、最後にこれらを想起するゲームや、できるだけ多くの国名を書き出す「ことば集め」ゲームなどで記憶力の強化を図った。また、通常とは違う動きで数を数える手遊びや、円形のシーツの端を持って動かし、握力を増進しな



みんなで息を合わせて、声を出して、楽しんで！

がら、空いている穴に玉をいくつ入れられるかを競う「シーツ玉入れ」では、チームワークによる協調性を養うとともに、穴に入った玉で簡単な計算をおこなうことで、脳の活性化を図った。これらのゲームは、「モボの会」という「もの忘れ予防ゲームリーダー」のボランティアの進行でおこなわれる。旭区地域包括支援センターではNPO法人認知症予防ネットと連携し、ゲームリーダーの養成講座も開講している。少しでも多くの人に、地域の活性化に関わってもらうことが狙いだと、担当の芝ひかりさんは語る。

この会がはじまったのは平成27年から。「ふれあい喫茶で、もの忘れが気になるという方がいらっしやっただので、そういった方々が交流する機会をつくりたいと発足しました」と芝さん。当初は、単におしゃべりをする場だったが、NPO法人認知症予防ネットの助言により、ゲームの要素を取り入れ、現在の形になったそうだ。「今後も、ゲームの種類を増やしたり、活動の場を増やしたり、活発に活動することで、もの忘れ予防に貢献していきたい」と語った。

芦田美子さんは新聞記事にあるように、10年前から高齢者支援を心がけ、NPO法人認知症予防ネットのリーダー養成講座を経て、2016年3月第一回認定講師資格審査に合格。ますます活躍中です。

京都新聞平成30年(2018年)12月3日(月曜日)本版 朝刊 福祉 朝刊 006ページ

来た道 行く道

「脳トレネット」は薬の体操や集団ゲームを通じ、認知能力と健康の維持向上を図ることを目的としたボランティアアクティビティです。

南丹市を中心に「認知症になるのをできるだけ先延ばしして、最後まで住み慣れた地域で元気に暮らし続けよう」と呼びかけて発足。ことしで10年目を迎えました。

私は東京や大阪などの長い都会暮らしの後、40代半ばで南丹市に移り住み、夫の両親と同居。高齢の両親の介護を通じ「地域に早く溶け込みたい。親たちにはできるだけ最後まで自分らしく元気に暮らしてほしい」と願い、自分でもできる地域活動を模索しました。

最初に取り組んだのが、「ふれあいサロン」です。2005年から月一回開き、高齢者の経験を生かすしめ縄づくりや伝統料理講習などを通じ居場所づくりと多世代交流を図っています。

サロンの活動を重ねて気付いたのは、若いを迎えた人に「地域がどれだけ安心・健康、生きがいを与えられるか」でした。人と話す機会がない、一日笑うことがない、社会参加を実感できない。「そんな思いをさせない地域づくりこそ求められてい

認知症予防教室「脳トレネット」代表

芦田 美子 さん

「できる」自信持つ場所を

「と、感じていました。」
ちよとこのころ、宇治市のNPO法人「認知症予防ネット」の理事長の高林実穂さんが改良、普及された「みんなの認知症予防ゲーム」に出合ったのです。入念に工夫された集団ゲームや各種の体操で、参加者の表情が生き生きと輝くのを見て、

内容の充実度と楽しさに魅了されました。
高林さんの認知症予防教室リーダー養成講座をすぐに受講。修了後、仲間たちと相談して、自分たちも予防のための教室を「と、始めたのが「脳トレネット」でした。現在は、老人クラブなどの団体から委託する連携講座のほか、自主講座や出前講座など年間計約1万回程度の教室を開いています。

人前後、スタッフは30人ですが、全員リーダーの資格を持つサポート意識の高い人は多いです。私たちが使うプログラムは「みんなの認知症予防ゲーム」が基本です。手指を使うグリップ体操や、十数人で行うシート玉入れなどを通じ、頭と体を動かします。

「みなさん10年たつても、認知機能に顕著な衰えは見られませんよ」。発足以来、教室参加者を育てたいと込めているドクタ



大勢で楽しめるよう工夫された脳トレネットの認知症予防ゲーム。参加者に応援の声をかける芦田さん(中央)＝11月19日、南丹市・市立八木老人福祉センター

「から、かけてもらった言葉が私たちの励みです。
これまでの活動を通して、人は老いても「何かできることがある」「必要とされている」という自信が、活力になることを実感しています。今後も高齢者が自信を見いだせる居心地のよい場所を地域で提供し続けていきたいと思っています。

あした・よし」1947年、南丹市(旧美郷町)生まれ。同志女子大卒。70年、日本万国博覧会勤務。結婚後、宇治総合病院、高校講師などを経て、94年から南丹市に居住。市内で高齢者の社会参加と生きがいづくり、認知症予防の地域活動を展開している「認知症ネットワーク京都」代表幹事。「刑部ふれあいサロン」代表



無事に帰宅!



電車をいくつも乗り換えをして遠くまで一人でお出かけした母を「安心バッジ」が素早く助けてくれました。

問合先：NPO 法人認知症予防ネット広報担当
npo@n-yobo.net 075-641-5788 一個100円

「つながろうフェスタ」

平成30年12月16日(日) 宇治市生涯学習センター
主催NPO法人まちづくりねっと・うじ

まで多くの学生が参加し、継続的に取り組んできた教育プログラムとしての地域貢献活動が非常に高く評価された。京都文教大学では、その取組を継続・発展させた学生全体の地域連携プロジェクト活動をさらに推進し、地域を対象とする学生の自主的活動のなかから、地域特性を活かしつ、成果が期待できる取組をプロジェクトとして選定し、支援、助成する方針で、今回の「つながろうフェスタ」には地域連携学生プロジェクトとして「商店街活性化フェスタの運営などに参加し、当NPOのブースも適切に設置。ゲームにも関心を持って参加し、大学での体験会の可否も尋ねられた。若い世代の積極的な関心はNPOにとって力強い希望になった。



文部科学省の二〇〇七年度特色ある大学教育支援プログラムに採択された「現場主義教育充実のための教育実践と地域と結ぶフィールドワーク教育」の取組では、これ



京都ヒューマンフェスタ2018 世界人権宣言70周年記念

2018年11月18日(日) 京都テルサ
10:30-17:30

NPO共同ステージ企画「この社会の片隅に・・・」において、当NPOは「みんなの認知症予防ゲーム」の



紹介と、活動の目的を発表。世界人権宣言第1条は「人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同法の精神をもって行動しなければならない。」とあり、宣言は前文と30条よりなる。様々なNPOが条文に沿った社会を実現するため活動している。人権宣言第3条「すべて人は、生命、自由および身体の安全に対する権利を有する。」は認知症予防ネットの活動に関わる大切な条文で、高林名誉理事長は「認知症になっても、それ以上に進行することを予防し、改善し、お互いを受け入れ、理解し合い、心広く、心豊に暮らせる共生社会になることを目指し、そのために“体と頭を同時に使う予防ゲーム”の普及活動をしている。介護殺人のようなことを世の中からなくしたい、それがNPOの願いである」と発表。



～～～
NPOのブースで戦場カメラマンの渡部陽一講師に安心バッジの説明をする中村副理事長

NPO法人認知症予防ネット

事務局からのご案内

会員募集

私たちは「みんなの認知症予防ゲーム」が全国津々浦々まで広がることを願って活動を続けています。ご賛同下さる方は、NPO法人の会員となつて、この活動を支援してくださいませますようお願いいたします。

介護殺人 起きない国に

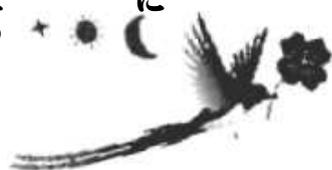
すべての人が

共に明るく暮らせる国に

「みんなの

認知症予防ゲーム」で

願い叶える



正会員 入会金 2,000円 年会費 6,000円
賛助会員
個人 入会金 1,000円 年会費 (1口)2,400円 1口以上
団体 入会金 3,000円 年会費 (1口)24,000円 1口以上
会員 通信無料

郵便振替口座

加入者名 NPO法人認知症予防ネット

口座番号 00900-1-223642

電話 0774-45-2835

メール npo@n-yobo.net

2018年10月～12月活動報告

10月

10月4日	木	養成講座	大阪市旭区	大阪市旭区地域包括⑤	13:30～16:00
10月5日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑤	13:30～15:30
10月7日	日	教室	京都府宇治市	平盛学区福祉委員会	13:00～15:00
10月8日	月	教室	京都府宇治市	ファミリーの会同窓会	10:30～12:00
10月9日	火	養成講座	京都府宇治市	青空塾③	14:00～16:00
10月10日	水	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター	13:30～15:30
10月11日	木	教室	京都市南区	故郷の家・京都①	13:30～14:30
10月12日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑥	13:30～15:30
10月12日	金	教室	京都市右京区	西院脳活サロン	10:00～12:00
10月13日	土	教室	京都市北区	鳳徳サロン	13:30～15:30
10月18日	木	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑦	13:30～15:30
10月18日	木	カフェ	京都府城陽市	みんなのカフェ	13:30～15:00
10月18日	木	教室	京都府城陽市	城陽市社会福祉協議会	13:30～14:30
10月21日	日	教室	兵庫県明石市	NPO法人ひまわりの会	13:30～15:30
10月21日	日	研修	奈良県生駒市	ライフケア創合研究所/いこいの家26	
10月22日	月	教室	京都市南区	故郷の家・京都②	13:30～14:30
10月23日	火	教室	京都府宇治市	とんがりやまのてっぺんDE	9:30～11:30
10月24日	水	体験会	大阪市城東区	城東区在宅サービスセンター	10:00～11:30
10月24日	水	教室	京都府城陽市	友愛ホーム「もの忘れ予防教室」	9:45～11:30
10月25日	木	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター	10:30～12:00
10月26日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑧	13:30～15:30
10月26日	金	カフェ	京都府宇治市	京都認知症総合センター	10:00～11:00
10月29日	月	養成講座	京都府宇治市	青空塾④	14:00～16:00
10月30日	火	養成講座	京都市上京区	KBSカルチャー	9:00～16:00
10月31日	水	養成講座	京都市上京区	KBSカルチャー	9:00～16:00
10月31日	水	教室	京都市南区	故郷の家・京都③	13:30～14:30

11月

11月1日	木	養成講座	三重県松阪市	松阪市第二地域包括支援センター	13:30～15:30
11月2日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑧	13:30～15:30
11月5日	月	養成講座	京都府宇治市	NPO法人 まちづくりネット・うじ 青空塾⑤	14:00～16:00
11月9日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑨	13:30～15:30
11月9日	金	教室	京都市右京区	西院脳活サロン	10:00～12:00
11月10日	土	教室	京都市南区	故郷の家・京都①	13:30～14:30
11月10日	土	教室	京都市北区	鳳徳サロン	13:30～15:30
11月12日	月	教室	京都府宇治市	ファミリーの会同窓会	10:30～12:00
11月13日	火	講演	京都府宇治市	NPO法人 まちづくりネット・うじ おしゃべりカフェ	14:00～16:00
11月14日	水	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター	13:30～15:30
11月15日	木	カフェ	京都府城陽市	みんなのカフェ	13:30～15:00
11月15日	木	養成講座	三重県松阪市	松阪市第二地域包括支援センター	13:30～15:30
11月16日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑩	13:30～15:30

11月18日	日	イベント	京都府京都市	ヒューマンフェスタ	10:30~16:00
11月19日	月	教室	京都市南区	故郷の家・京都②	13:30~14:30
11月22日	木	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター	10:30~12:00
11月22日	木	教室	京都府城陽市	城陽市社会福祉協議会	13:30~14:30
11月25日	日	全国交流会	京都市下京区	西本願寺間法会館	10:00~16:30
11月26日	月	審査会	京都市下京区	西本願寺間法会館	9:30~15:30
11月28日	水	教室	京都市南区	故郷の家・京都③	13:30~14:30
11月28日	水	教室	京都府城陽市	友愛ホーム「もの忘れ予防教室」	9:45~11:30
11月28日	水	教室	沖縄県沖縄市	JA沖縄(中部)	13:30~16:30
11月29日	木	教室	沖縄県名護市	JA沖縄(南部)	14:00~17:00
11月30日	金	教室	沖縄県浦添市	JA沖縄(中部南)	10:00~13:00
11月30日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑩	13:30~15:30
11月30日	金	カフェ	京都府宇治市	京都認知症総合センター	10:00~11:00

12月

12月3日	月	養成講座	京都府宇治市	NPO法人まちづくりネット・うじ青空塾①②	10:00~15:00
12月6日	木	養成講座	三重県松阪市	松阪市第二地域包括支援センター	13:30~15:30
12月7日	金	教室	大阪府八尾市	八尾市健康福祉部 高齢福祉課⑫	13:30~15:30
12月8日	土	教室	京都市北区	鳳徳サロン	13:30~15:30
12月8日	土	教室	京都市南区	故郷の家・京都①	13:30~14:30
12月10日	月	教室	京都府宇治市	ファミリーの会同窓会	10:30~12:00
12月11日	火	教室	京都市	一般社団法人 文化浴の森	10:00~12:00
12月12日	水	教室	京都府井手町	井手町地域包括支援センター	13:30~15:30
12月13日	木	カフェ	京都市南区	認知症カフェ なないろまだん	14:00~15:00
12月14日	金	講演	山形県酒田市	酒田市介護保険課	18:30~20:30
12月14日	金	教室	京都市右京区	西院脳活サロン	10:00~12:00
12月16日	日	イベント	京都府宇治市	10周年記念 NPOまちづくりネット・うじ	9:00~16:00
12月17日	月	教室	京都市南区	故郷の家・京都②	13:30~14:30
12月19日	水	教室	京都府城陽市	友愛ホーム「もの忘れ予防教室」	9:45~11:30
12月20日	木	カフェ	京都府城陽市	まごころ城陽カフェ	13:30~15:00
12月20日	木	カフェ	京都府城陽市	みんなのカフェ	13:30~15:00
12月20日	木	教室	京都府城陽市	城陽市社会福祉協議会	13:30~14:30
12月25日	火	デイボラ	京都府宇治市	i♥ホットデイサービスセンター	13:00~14:00
12月26日	水	教室	京都市南区	故郷の家・京都③	13:30~14:30
12月27日	木	教室	京都府宇治市	北宇治地域包括支援センター	10:30~12:00
12月28日	金	教室	京都府宇治市	京都認知症総合センター	10:00~10:30

◆リーダー養成講座実録(150p)



値段はいずれも1000円

ご購入希望の場合は郵便払込でお申し込み下さい。
 払い込み手数料と送料はご負担をお願いします。
 郵便払込 加入者名：NPO 法人認知症予防ネット
 口座記号番号：00900-1-223642

◆認定講師心得(43p)

